



【「研究会原稿テンプレート」と「論文誌テンプレート」の主な違い】

- ・原稿1pの氏名と所属の記載方法（論文原稿は、1p左下に所属欄を設けており、そちらに日本語、英語で所属と住所を記載）。
- ・研究会原稿は、会員、非会員の記載なし（論文原稿は、氏名の横に記載）。
- ・研究会原稿は、最終ページの著者略歴と顔写真データの掲載なし。
- ・論文誌原稿は、キーワード数6つ以内。

【確認事項】

- (1) 会告をHPに掲載するには、英文論文誌編修会議において、本施策が承認後となるので、それ以降にアナウンスする。
会告掲載時期に合わせ、B部門研究調査運営委員会の幹事に、研究調査運営委員会から優秀論文受賞者に対して、共通英文論文誌へ投稿依頼を依頼する。
- (2) TEEE Bで返送となり、再度、新規に論文誌 Bに投稿された論文が返送となる可能性はありえる。
ただし、旧 I Dの連絡を義務付け、掲載が決定している旧論文と同じ論文であれば、返送になることはないだろう。
念のため、最初の論文誌 Bに投稿する時に、著者から、再度、新規に論文誌 Bに投稿する場合は、掲載までに時間がかかることを同意していただく。同意書は、投稿画面の「事務局への連絡」を活用する。
- (3) 翻訳費用 / 英文校正費用とも、翻訳会社との作業依頼、支払いや、本施策への同意書の内容に違反した著者に、費用を請求する業務を、事務局の皆様をお願いしたい。
- (4) 翻訳会社やプランは、学会で指定する。
- (5) 翻訳会社に、翻訳、英文校正を依頼するのは、電子投稿・査読システムにおいて、どの操作段階とするか、事務局で検討必要。
- (6) 論文誌 Bで採録となった際、論文を「一度、取り下げる」（フロー中央の四角枠に記載）のは、編修長 → 事務局から著者に採録通知を送信した後、著者「最終原稿提出待」の状態、著者が「取下」ボタンをクリックとする。
- (7) TEEE Bで返送となり、再度、新規に論文誌 Bに投稿された論文を把握するため、著者に旧ID（論文誌 B、TEEE B）の連絡を義務付ける。投稿画面の「事務局への連絡」を活用する。事務局から著者に返送通知を送信する際に、その旨を伝える。



